

生命工学 NEWS LETTER

生命工学科の“いま”をお届けします！

生命工学科卒業生の進路は？

生命工学科生の「就職」・「大学院進学」・「教職」について、学生の声と一緒にご紹介します。

就職：生命科学系はバイオ産業分野へ、人間情報工学系は生体工学を含む情報産業分野への就職が期待されます。過去2年間（2022～2023年度）の本学科の卒業生は、国家公務員、北海道庁、札幌市ほか地方公共団体、ホクレン農業協同組合連合会、北海道コカ・コーラプロダクツ株式会社、株式会社NTTデータMSE、株式会社マイナビEdge、エヌ・ティ・ティ・システム開発、北海道旅客鉄道株式会社、株式会社ニトリなど、幅広い分野で内定を得ています。

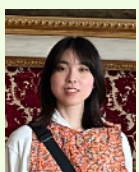
大学院進学：本学科の特徴の一つに大学院への進学者が多いことがあります。大学院は高度かつ先端の知識や技術を学ぶ場所であり、企業で高いリーダーシップを発揮し活躍することが期待されます。本学科では、大学院進学に向けた情報提供「大学院進学説明会」を開催するなど、独自のサポートを行なっています。

教員免許取得：本学科では「高等学校教諭一種免許状（理科）」・「中学校教諭一種免許状（理科）」・「高等学校教諭一種免許状（情報）」の取得が可能です。卒業に必要な単位以外に、教員免許取得に必要な科目の単位履修が必要です。本学科では毎年1～2割程度の学生が教職課程を履修し、教員を目指しています。



生命工学科の「就職活動スタートアップイベント」では、これから就活を始める3年生が、内定や大学院進学が決まった4年生に直接相談することができ、大変好評です。

月居桃望さん（情報系）



卒業研究ではがん細胞の動きを観察するためのイメージングツールの開発に取り組みました。この学科で生命分野と情報分野の2分野を学ぶことで視野と選択肢が広がりました。卒業後はNTTデータMSEに勤務します。IT技術を使って社会貢献していきたいです。

片岡小雪さん（食品メーカー）



卒業研究では新規ワイン醸造用酵母の選抜を行いました。実習とは違い思うように結果が出ないこともありましたが、どのように対応するかを考え実施することで、問題解決能力や忍耐力を養うことができました。卒業後は食品メーカーで、味を追及し美味しいものを生み出していきたいです。

丹羽健輔さん（公務員）



卒業研究では、鳥類が吐くペリットの吐き主を、DNA解析で特定するというテーマで取り組みました。同じ研究室の友達と励まし、協力しながら興味のある研究が出来るので楽しいです。卒業後は公務員の北海道森林管理局に就職します。大学で学んだ経験と知識を活かして頑張ります。

八谷竜生さん（大学院進学）



私は授業や資格取得を通じて自分の学ぶ姿勢に自信が持てるようになり、さらに挑戦して学びたいという思いから北海道大学大学院情報科学学院への進学を決めました。卒業研究ではChatGPTの特徴を利用した新たなデータ拡張法を提案しました。

寺田紀葉さん（理科教員）



卒業研究は、学園ワインをテーマに醸造に合う野生酵母を見つけるため、道内各地からのサンプル収集と選抜実験をしました。本学の教職課程は手厚いサポートを受けることができます。充実した4年間になるよう様々なことに挑戦してください！

板垣航平さん（理科教員）



本学の教職課程は、先生から教育に関する情報や先輩方の経験談などを聞ける機会が多いので誰でも安心して教員の道に進められると思います。実習や授業等、大学の授業と並行して勉強するのは大変だと思いますがしっかりと力になると思います。応援しています！

第6回学生アイデア プレゼンテーションに 本学科3チームが参加



本学科の学生3チーム、金木美月さん、若狭胡桃さん、高橋昂也さん、宮本拓也さん、飯野準基さん、伊藤岳さん、梶田宙さんの計7名が、2023年11月21日にホテルニューオタニインで開催された札幌商工会議所主催の「第6回学生アイデアプレゼンテーション」に参加し、各自のアイデアについて発表を行いました。

発表後には、アイデアに興味をもっていた会社の方から質問やアドバイスをいただき、メディアでも取り上げていただきました。

学生が主催！ 生命工学科懇親会を開催



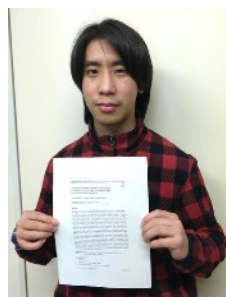
3年生有志が主催した生命工学科懇親会が、2024年1月18日、豊平キャンパスの大学生協カフェテリアで開催されました。会には1～3年生と、教員も参加し、ボードゲームやビンゴ大会で学年を超えて親交を深めました。



主催してくれた3年生有志ら

菊地晃平さんの論文が 国際ジャーナルに掲載

菊地晃平さん(大学院工学研究科博士(後期)課程: 鈴木研究室)、の論文: International efficiency evaluation of education and impacts of bullying: a value inversion-data envelopment analysis approach が、Asia-Pacific Journal of Regional Science に掲載されました。本研究は、新たに開発した Value Inversion-Data Envelopment Analysis(包絡分析法)を活用して、OECD各国の教育効率を評価しました。結果に基づき、特にアジア・環太平洋各国の教育効率の改善方策を提示しました。これらの研究成果が認められ、北海学園大学学長賞が授与されました。



生命工学科卒業研究発表会が 実施されました



各自の研究について活発な議論が行われた



発表会終了後の懇親会も4年ぶりに再開

生命工学科卒業研究発表会が、2024年2月5・6日に実施されました。4年生は、在学中に身につけた専門知識を生かし、それぞれが1年間かけて取り組んできた卒業研究について発表を行いました。学科4年生や教員はもちろん、学科下級生も多く参加し、各研究について活発な質疑応答が行われました。また、研究に一生懸命に取り組んだ学生を称えるために設立された表彰制度『生命工学学生研究賞』は、2023年度は生命工学科4年生の八谷竜生さんが受賞しました。

今年も学園オリジナルワイン発売

工学部生命工学科では八剣山ワイナリー(札幌市南区)と連携し、ワインプロジェクトを進めています。2023年度は赤ワイン・白ワイン・スパークリングロゼワインの3種を仕込み、このたび、他の2種に先出ってスパークリングロゼが完成しました。八剣山ワイナリー他、市内酒販店で購入可能です。詳細は学園オリジナルワインHP。



学園ワインHP



北海学園大学公式HP <https://eng.hgu.jp>

北海学園大学 生命工学科

検索